

- | | | |
|---|-----------|------------------------------------|
| 1 | 審議会名 | 平成25年度第1回西部公民館運営審議会 |
| 2 | 日時 | 平成25年6月25日(火)午後7時00分から午後9時00分まで |
| 3 | 会場 | 上田市西部公民館1階大ホール |
| 4 | 出席者 | 田村保会長、清水文彦副会長、工藤典子委員、小岩井礼子委員、南澤威委員 |
| 5 | 市側出席者 | 山崎館長、中山次長、小山主査、清水社会教育指導員、柳澤社会教育指導員 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成25年6月26日 |

協議事項等

- 1 開 会(中山次長)
- 2 田村会長あいさつ

公民館事業の審議にあたっては、ひとつひとつの事業がどうのこうのではなく、3年から5年、10年後の行き先を見てもらって、その進むべき方向性はどうかを話し合っていたきたいと思っている。今年度第1回目の審議会なので、忌たんのない意見をお願いしたい。
- 3 審議事項
 - (1)平成25年度実施事業計画について
 - (ア)体育事業概要

(委員)ペタンクによる飯田市県公民館との交流が始まり、体育事業では新しい芽が出始めた。これからは、公民館交流や分館交流を通じて相互に学習や活動を高めていければいいのではないかと。体育事業以外の青少年事業などでも芽を出して欲しい。これをひとつの柱として、西部公民館のこれからの方向として考えていってほしい。

(事務局)公民館事業だけでなく、飯田市はまちづくりの点においても先進的な取組をしているので、これをきっかけとして、学ぶことができたらと考えている。

(委員)現在、ペタンク大会をやっているのは西部公民館のみか。そうだとすれば、他の地域へ拡大していく必要があるのではないかと。まずは7月7日のペタンク大会の見学でも促したらどうか。

(事務局)先日の公民館長会議において、ペタンクを通じた飯田市との交流事業の説明をし、他の公民館にも周知している。
 - (イ)成人女性教育事業概要

(委員)成人女性教育の中でも、童謡・唱歌を楽しむ教室の参加者が特に多すぎないか。参加者は何人いるのか。

(事務局)今年度の参加者は127人である。参加者からは大変好評をいただいている。

(委員)公民館事業で「成人女性教育」とあるが、男女共同参画社会の中で「女性」を表に出す必要があるのか。「成人教育」というくりで良いのではないかと。

(事務局)「成人教育」という形で統一したい。また、講座の企画については、常に新しいアイデアを盛り込みながら検討していきたいと考えている。

(委員)今のような形や流れの中で、今後も事業の取捨選択をしながら、方向性を出していけば良いのではないかと。そうすれば、童謡・唱歌を楽しむ教室のように、120人を超える講座も出てくると思う。

(ウ)文化・高齢者教育事業概要

(委員)作品展の出品点数は増えているのか。

(事務局)西部公民館は展示場所が限られており、団体ごとに作品点数を限定しているため、毎年出品点数の増減はない。

(委員)今、高齢者が最も心配していることは、足腰が弱って歩けなくなることだ。このことは、意外に関心が高いので、「いつまでも元気で歩ける骨(こつ)」と題して、地域のために活動したい地元の専門家に講座を依頼したらどうか。日頃から地域とつながりが持てれば、いざというとき助けてもらえるといった相乗効果が得られるのではないかと思う。

(エ)青少年教育(家庭教育支援)事業概要

(委員)西部公民館でアンサンブル・オーケストラのコンサートというのは、場所的に狭すぎるのではないか。子どもたちにはゆったりとした会場で聴かせてやりたいので、西小学校とタイアップして、公民館ではなく、西小学校の体育館で行ったらどうか。

(事務局)今回の企画は夏休みの子どもの対象にしたもので、椅子席ではなく、御座を敷いて会場を設営するので、オーケストラの楽団員が会場の約1/3を占めても、観客は100人程度は入場できる計算である。また、指揮者の高橋さんには事前に会場の下見をしてもらっており、会場設営の話もすでに了解を得ている。特に、重要な音響については、反響音の観点で管弦楽には適しているとの意見をいただいております。西小学校での実施は考えていない。公民館での実施について、御理解をいただきたい。

(委員)とりあえず今回やってみて、今後検討していけば良いのではないか。

(オ)人権同和教育

(委員)今年度は、各分館でしっかり見てもらう方向でお願いしたい。

(カ)分館育成事業概要

(委員)困っているような(元気の出ない)分館はあるか。

(事務局)西部公民館内では特に聞いていない。ただ、分館役員の中には、仕事の関係で分館の仕事ができなくなり困っているという話は聞いている。また、公民館としては、従来定例的に行ってきた会議の中で必要がないものは省略するなど、各分館役員の負担を出来る限り軽減する工夫をしている。

(キ)広報活動事業概要

(委員)公民館だよりは毎月発行されており、今後も継続してもらいたい。

(ク)利用者団体事業概要

特になし

(ケ)その他事業概要

(委員)戦争の問題についての講座は、公民館の新しい方向として、2本目の柱にできるのではないか。対象を子どもに絞って、子どもたちに繋ぐ、伝えていくことは大切なことである。

(事務局)現在、講師の検討をしており、戦前から戦後にかけての上田市の教育について、上田市誌の部分で少し深く講義してもらえればと考えている。

(委員)何のための戦争であったのか、どのような方向に持っていくのか、どの部分を攻めていけば良いのか、それともマインドコントロールの部分まで持っていくのか、講師の考え方で対象は決まってくる。できれば中学生から聞かせてやりたいような内容まで持っていくべきではないか。

(事務局) 大人も対象に考えていきたい。

(審議結果) 今年度の事業計画については、プランの立て方、方向性、内容ともに良い。

(2) 平成25年度城南公民館利用者団体について

(委員) 公民館はまだ余裕はあるのか。

(事務局) 現在のところ、公民館の稼働率は非常に高い状態であり、これ以上の増加は大変厳しいものがある。

(審議結果) これ以上の利用者団体の増加は公民館運営上厳しい。

(3) 公民館を巡る諸課題について

(事務局) 平成25年度課の目標管理シートの内容を説明

(委員) 特になし。

(審議結果) 目標管理のとおり問題ない。

4 その他

(1) 平成25年度の学校支援について

(ア) 第三中学校関係「花と庭づくり教室」講座について

(イ) 西小学校ボランティアについて

(審議結果) 全般を通して、今年度の事業の目標の立て方、プランはこれで良い。重要な柱も2、3本入っている。ペタンク大会、オーケストラコンサート、戦争学習の話も良い。公民館事業は、下手に狭めず、大きな流れを作った中で、絡むもの、できるものが入ってくるという考え方で進めて良い。学校支援については、各公民館で色々な立ち位置があり、公民館として、方向性を決めずに様々な形で試行錯誤しながら、それぞれの持ち味を生かしていけば良いのではないかと。西部公民館のスタンスとすれば、公民館活動を核とする中で、学校の子どもたちとの橋渡しの役割として位置づけており、他の公民館では持っていない部分と考えている。

5 閉 会 (中山次長)